

市長の ふれあい訪問

●今回の訪問先●

びよびよなかま・前川

平成12年から開始された市による「おやこの遊びひろば事業」に加えて、子育て家庭などへの支援を更に充実させるため、平成17年に主任児童委員と地域のボランティアを中心に「びよびよなかま・前川」を開設し、現在前川公民館で毎週木曜日に活動をしているみなさんを岡村市長が訪問。日ごろの活動内容などを聞きました。



市長 みなさんこんにちは。今年もあと三分の一になりました。年末まで一瀉千里ですが、しっかりと頑張っていきたいと思えます。

9月の市長のふれあい訪問はびよびよなかま・前川のみなさんです。よろしくお願ひします。かわいらしい名前ですが、どんな活動をしているのですか。

庵地 3歳までの子どもと保護者を対象に、公民館の一室にカーペットを敷き、おもちゃなどを使い親子で遊び、おしゃべりもしていただける遊びひろばを開設しています。

市長 びよびよなかま・前川は、いつ発足したのですか。

佐藤 発足は平成17年です。毎週木曜日の午前10時から12時まで行っています。子育てだけでなく親育ての場にもなっている、すばらしい会です。

市長 市ではおやこの遊びひろば事業を行っていますか、かわりはあるのですか。

新井 市で行うおやこの遊びひろ

らばは、毎週水・金曜日に行っています。びよびよなかまは、ボランティアで行うおやこの遊びひろばで、毎週木曜日に開催しています。

市長 始めたのは、どのようなきっかけからですか。

川部 市からの依頼で、主任児童委員が中心となり全市的に始まったことがきっかけです。発足当時は、ほとんどの公民館で開催していましたが、現在は、私たちの行っている前川公民館と西川口、南平公民館の3カ所での開催となっています。

市長 会員は何人おられるのですか。

浅見 びよびよなかま・前川は20人です。そのため、月に1回



くらののローテーションでうまく回っています。

市長 そうですか。さきほど「親育て」にもなるというお話がありましたけれど。

佐藤 自分の親に言われて納得できないことも、ここにきて若いママ同士が話すことで納得できることがたびたび見受けられます。それを見ると、親育ちの場でもあると感じています。

市長 逆に若いママから相談されることもあるのですか。

強矢 ありますね。私も子どもが小さいとき、大人と話したいなと思っていましたが、大人同士の会話がここに来ればできますし、そのお手伝いができるのはいいですね。

市長 とところで、主任児童委員と民生委員が中心のようですが、主任児童委員さんというのはどのようなことをなさっているのですか。

川部 子どもの世話をします。4〜5校の学区に2〜3名配置されています。学校と子どもをつなげたり、学校と地域をつなげたり、児童に寄り添いながら関係者をつなげる役割です。

市長 民生委員さんはどういうことなさっているのですか。

新井 地域の高齢者のケアが中心です。

浅見 ただ民生委員は児童委員も兼ねているので、学校から連絡があれば問題解決のため、主任児童委員さんと連絡を取り合います。



市長 そうですか。みなさんが行っているこのような会に、多くの親子が積極的に参加してくればいいですね。同じ仲間がいるから、言いたいことを言い合えながらお互いを理解し合える。とても貴重なボランティア活動していただき本当にありがとうございます。最後にこれらの抱負をお願いします。

庵地 川口はボランティアのまちです。私たちもボランティアでこの活動を行っています。ここにきている若いママたちが、自分の子どもが学校に入ったらPTAなどのボランティアを進んで引き受け、その何十年後には、ここで私たちのようなことを引き継いでいただきたいというのが私たちの願いです。

市長 そうなるといいですね。今日はありがとうございました。これからもどうぞよろしくお願ひします。